



東地中海地域ニュース

トルコ：北イラク情勢に関するギョル外相の発言 (2月21日付現地民放テレビ)

2月21日、ギョル外相による民放テレビ局とのインタビューでの発言。

1. 北イラクのクルド問題

我々の(イラクの)クルド人指導者との接触は、クルド地域を独立国として承認したことを意味するものではない。

我々は彼らと対話し、何が良いことで、何が悪いことであるかを伝えることが出来る。政治家及び外交官によって話し合われるべき事項と、軍人によって話し合われるべき事項がある。

トルコ軍人がイラクのクルド人指導者と会談することを期待することは不可能である一方、我々がクルド人指導者と接触することは可能である。もっとも、今のところ、トルコ政府がクルド人指導者と接触する予定はない。

トルコは、イラク人を敵とは認識していないが、彼らが間違ったことをした場合には、間違いを正すように要請するだろう。イラクは、間違いを正さない場合には、その対価を払うことになるであろう。

2. PKK 問題

トルコは、北イラクに多くの懸念を持っている。PKKは、北イラクにキャンプを保持し、最近では複数のPKK幹部が北イラクに居住するようになっている。この問題については、米国と率直な意見の交換を行っている。